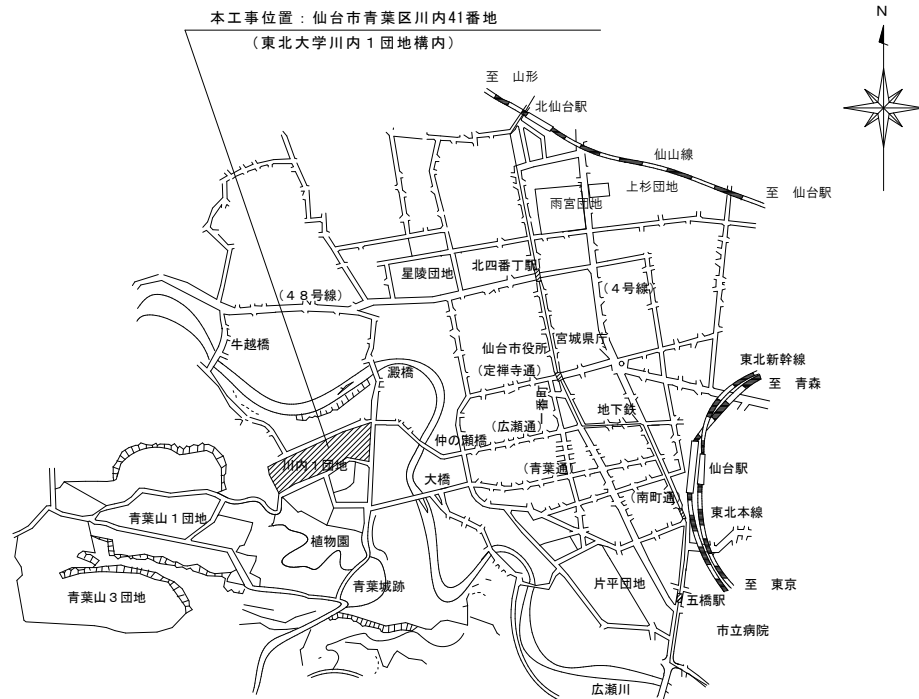
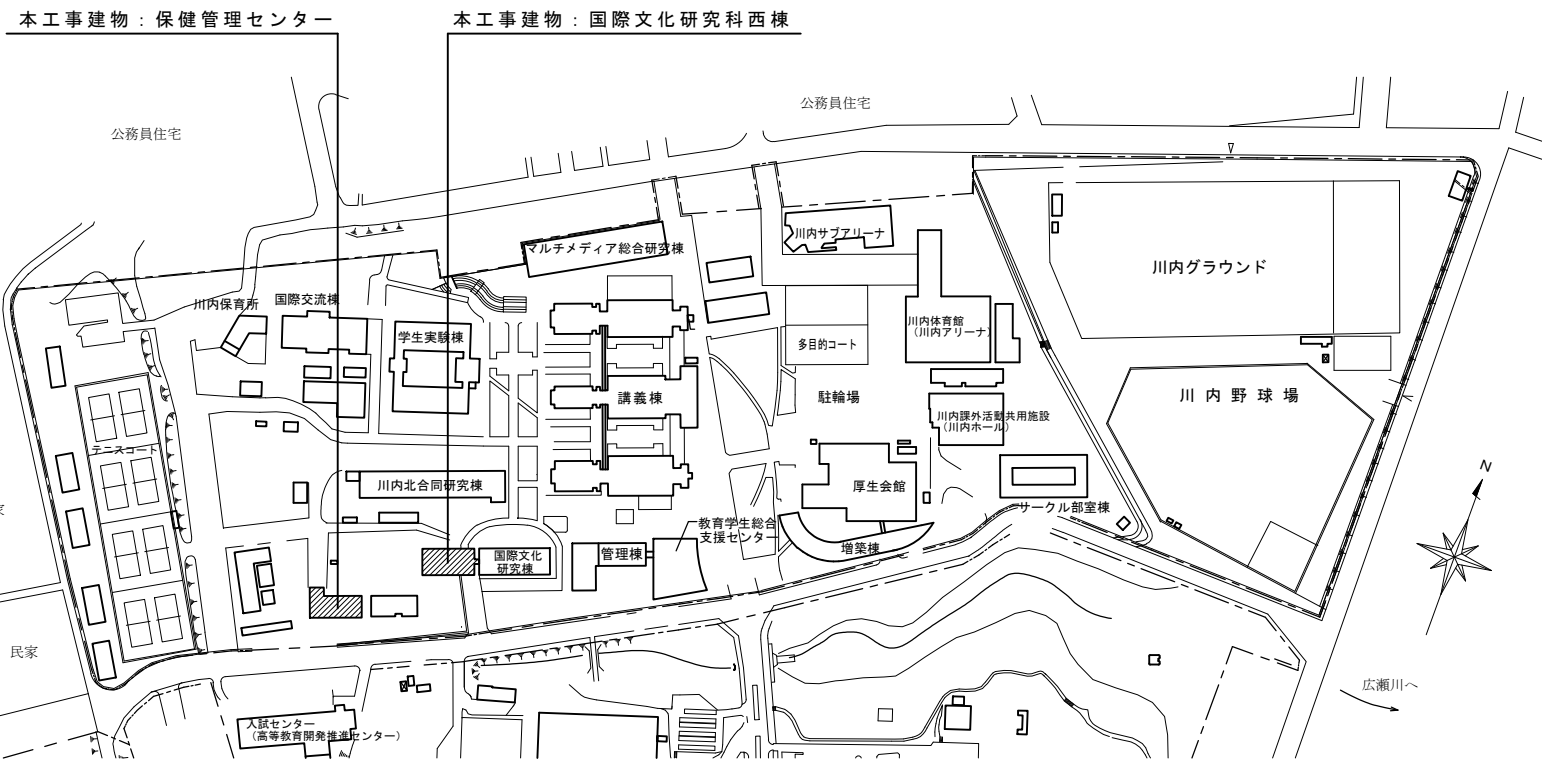


# 東北大学（川内1）国際文化研究科西棟等トイレ改修工事



案内図 S=Non Scale



配置図 S=Non Scale

## 【建物概要】

建物名称	国際文化研究科西棟	保健管理センター
建設年	1986年	1994年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
階数	4階建て	2階建て
建築面積	439 m <sup>2</sup>	364 m <sup>2</sup>
延床面積	1,547 m <sup>2</sup>	686 m <sup>2</sup>
改修面積	74 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>

## 【工事概要】

工事場所：宮城県仙台市青葉区川内41番地（東北大学川内1団地構内）

工期：令和2年9月～令和3年1月

施工条件：保健管理センターについては、工事の始期を11月12日以降とする。

工事内容：

建物名称	国際文化研究科西棟	保健管理センター
建築	内装改修 床・壁・天井仕上げ改修等 （詳細は別図による） 建具改修	内装改修 床・壁・天井仕上げ改修等 （詳細は別図による） 建具改修
電気設備 （別途工事）	電灯設備	電灯設備 誘導支援設備
機械設備 （別途工事）	暖房設備、換気設備、衛生器具設備、給排水設備、都市ガス設備	暖房設備、換気設備、衛生器具設備、給排水設備、都市ガス設備

※施設を利用しながらの工事であり、工事中の仮設工事等を含む

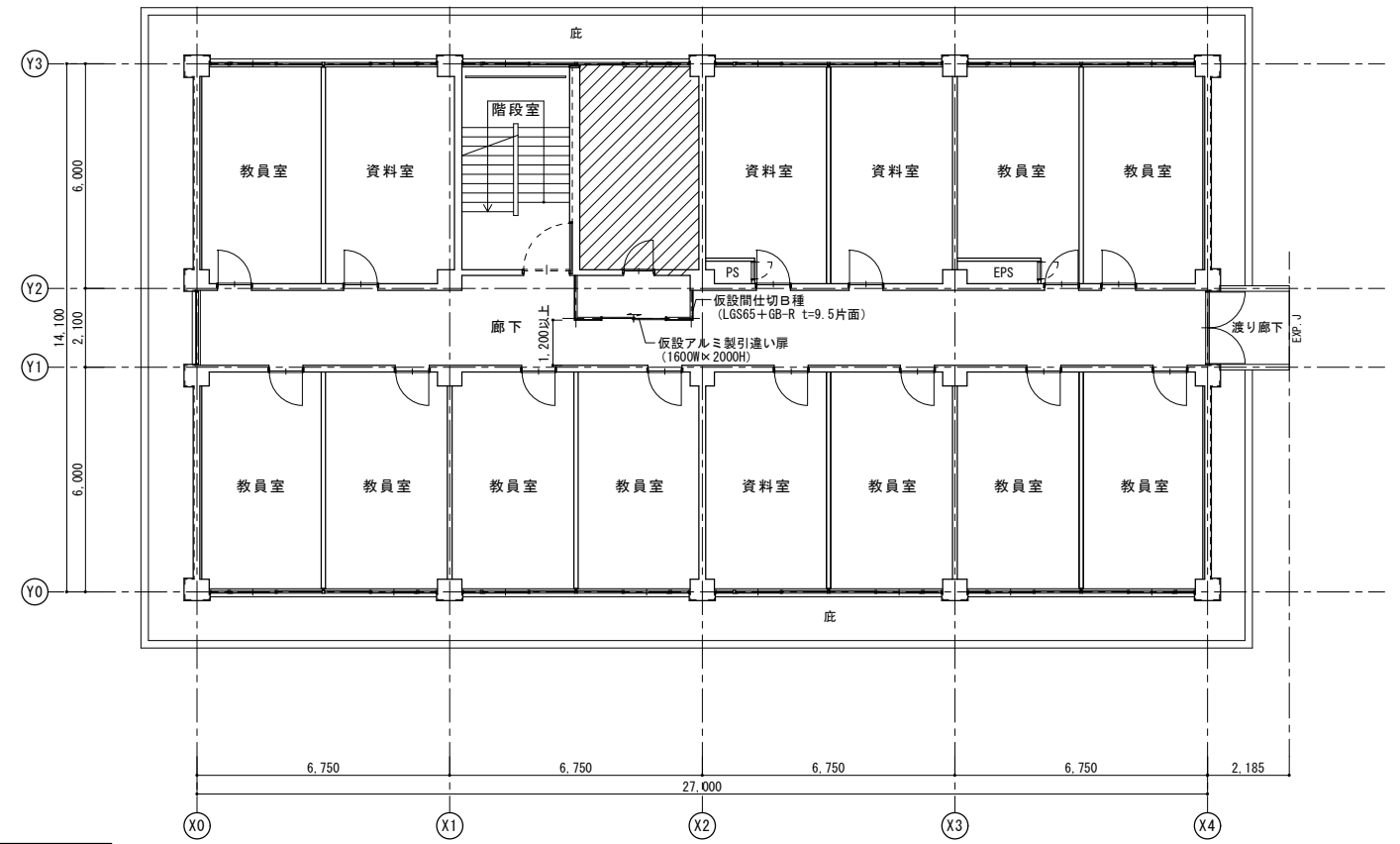
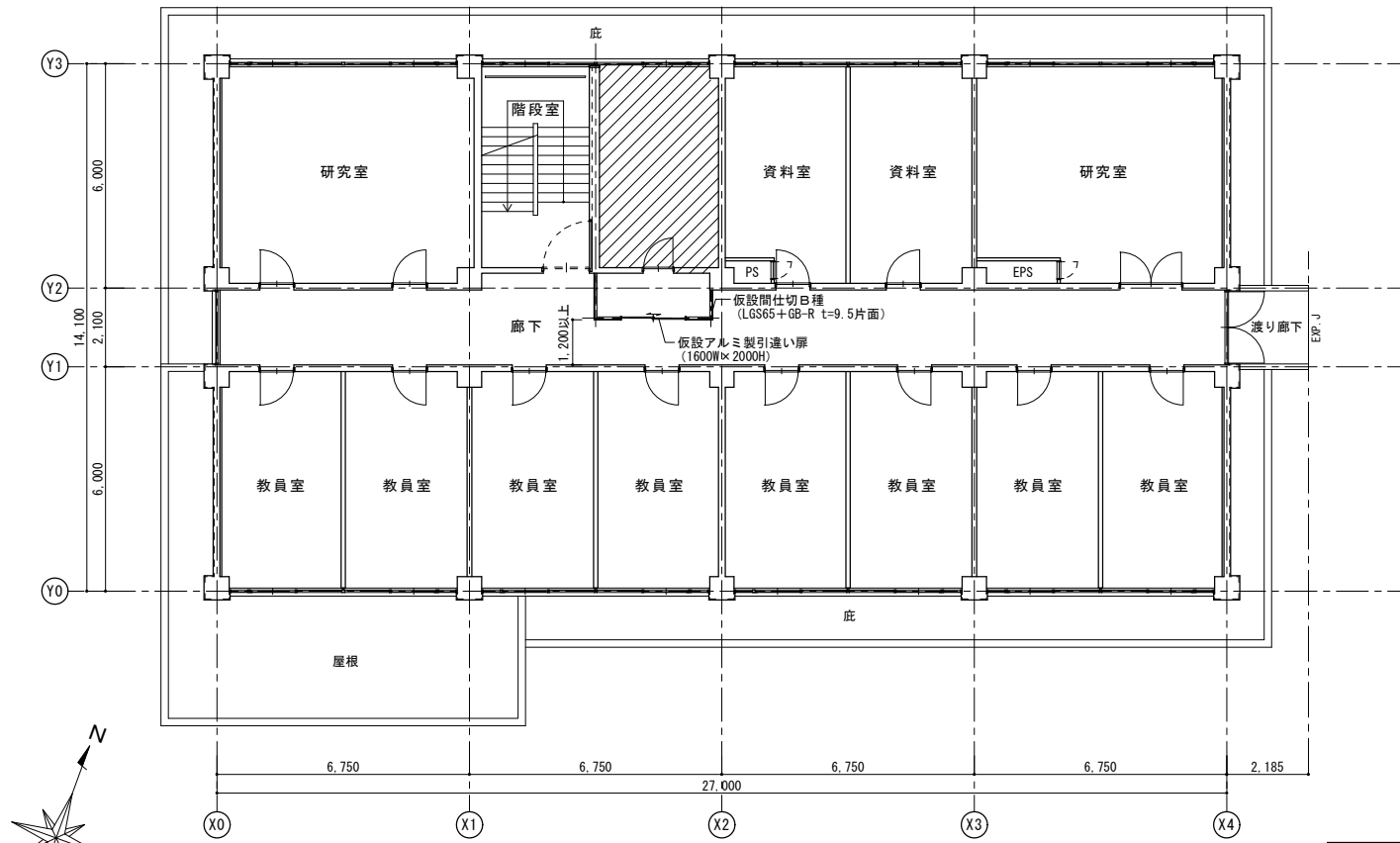
内部仕上表

棟	階	室名	改修前後	床下地			床	巾木	壁		天井			備考	
				床下地	SL	FL			壁下地	壁	天井下地	天井	廻縁		CH
国際文化研究科西棟	1	男子便所-1	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	ライニング H=1450 (撤去) ライニング H=1250 (撤去)
		男子便所 (1)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	ライニング H=1200 汚垂石 500×800×2枚
		女子便所-1	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	
		女子便所 (1)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	
	2	男子便所-2	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E ケイカル板 t=6+E P : U S 壁 (撤去)	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	ライニング H=1450 (撤去) U S (撤去)、カーテンレール (撤去)
		男子便所 (2)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	ライニング H=1200 汚垂石 500×800×2枚
		女子便所 (2)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	
		男子便所-3	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	石綿ケイカル板 t=5+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	ライニング H=1450 (撤去) ライニング H=1250 (撤去)
	3	女子便所-3	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	石綿ケイカル板 t=5+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	
		女子便所 (3)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	
	4	男子便所-4	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	石綿ケイカル板 t=5+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420	ライニング H=3150 (撤去) ライニング H=1250 (撤去)
		男子便所 (4)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420	ライニング H=1200 汚垂石 500×800×2枚
女子便所 (4)		改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420		
男子便所-1、2 女子便所-3		改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	石綿ケイカル板 t=5+E P (撤去) ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,420		
共通	P S	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (撤去)	VH H=75 (撤去)	CW-A	複層塗材 E トイレブース	CW	コンクリート打ちのまま	---	3,145		
		改修後	既存のまま	-15	±0	V S 撤去のまま	---	既存のまま LGS	既存のまま、外壁面: GB-S t=12.5 (GL) LGS、GB-S表わし	既存のまま	既存のまま	---	3,145		
	前室	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-R t=12.5 (GL)+E P-G GB-R t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,420		
	廊下	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.5 (一部撤去)	VH H=75	CW-A	複層塗材 E	LGS	GB-D t=9	塩ビ	2,400		
	改修後	既存のまま	-15	±0	既存のまま 一部 VS t=2.0張替え (2・4階RC壁撤去部)	既存のまま 一部 VH H=75(3階)	既存のまま	一部 複層塗材 E 上塗り (2・4階RC壁撤去部) GB-R t=12.5+E P-G	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2,400			
保健管理センター	1	男子便所-1	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0 (撤去)	VH H=100 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,500	ライニング H=1400 (撤去)
		女子便所 (1)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,500	検尿置棚 H=1200 補助手摺-1
		女子便所-1	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0 (撤去)	VH H=100 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,500	
		男子便所 (1)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,500	ライニング H=1200 汚垂石 500×870、補助手摺-1、補助手摺-2
		廊下	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	CW-A	E P	LGS (一部撤去)	GB-D t=9 (一部撤去: 天井点検口新設部)	塩ビ	2,500	
			改修後	既存のまま	-15	±0	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	GB-D t=9.5 (天井点検口新設部)	既存のまま	2,500	
	みんなのトイレ (改修無し)	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0	V S t=2.0 H=100	CW-A	複層塗材 E	LGS	無石綿ケイカル板 t=6+E P	塩ビ	2,500	ライニング H=1050 補助手摺	
		改修後	既存のまま	-15	±0	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	2,500		
	P S (改修無し)	改修前	C-A	-15	±0	コンクリート金ごて仕上げ	---	CW	コンクリート打ちのまま	CW	コンクリート打ちのまま	---	3,235		
		改修後	既存のまま	-15	±0	既存のまま	---	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	---	3,235		
	2	男子便所-2	改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0 (撤去)	VH H=100 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,500	ライニング H=1400 (撤去) ライニング H=1050 (撤去)
		男子便所 (2)	改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,500	ライニング H=1200×2カ所 汚垂石 500×800×2枚
女子便所-2		改修前	C-A	-15	±0	V S t=2.0 (撤去)	VH H=100 (撤去)	CW-A	複層塗材 E	LGS (撤去)	無石綿ケイカル板 t=6+E P (撤去)	塩ビ (撤去)	2,500	ライニング H=1050 (撤去)	
女子便所 (2)		改修後	既存のまま	-15	±0	V S t=2.0	VH H=60	既存のまま LGS	既存の上、GB-S t=12.5 (GL)+E P-G GB-S t=12.5+E P-G	LGS	GB-D t=9.5	塩ビ	2,500		

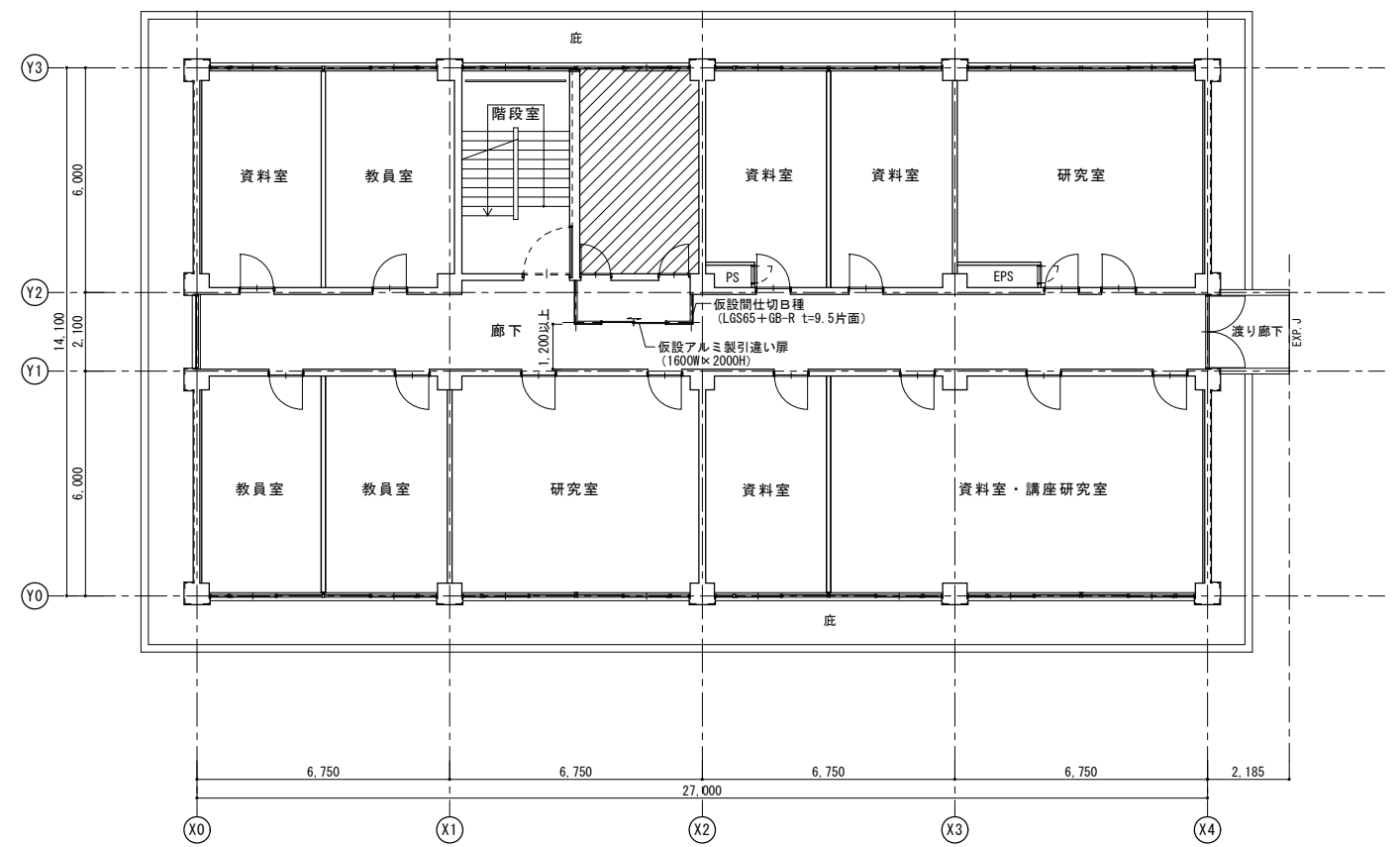
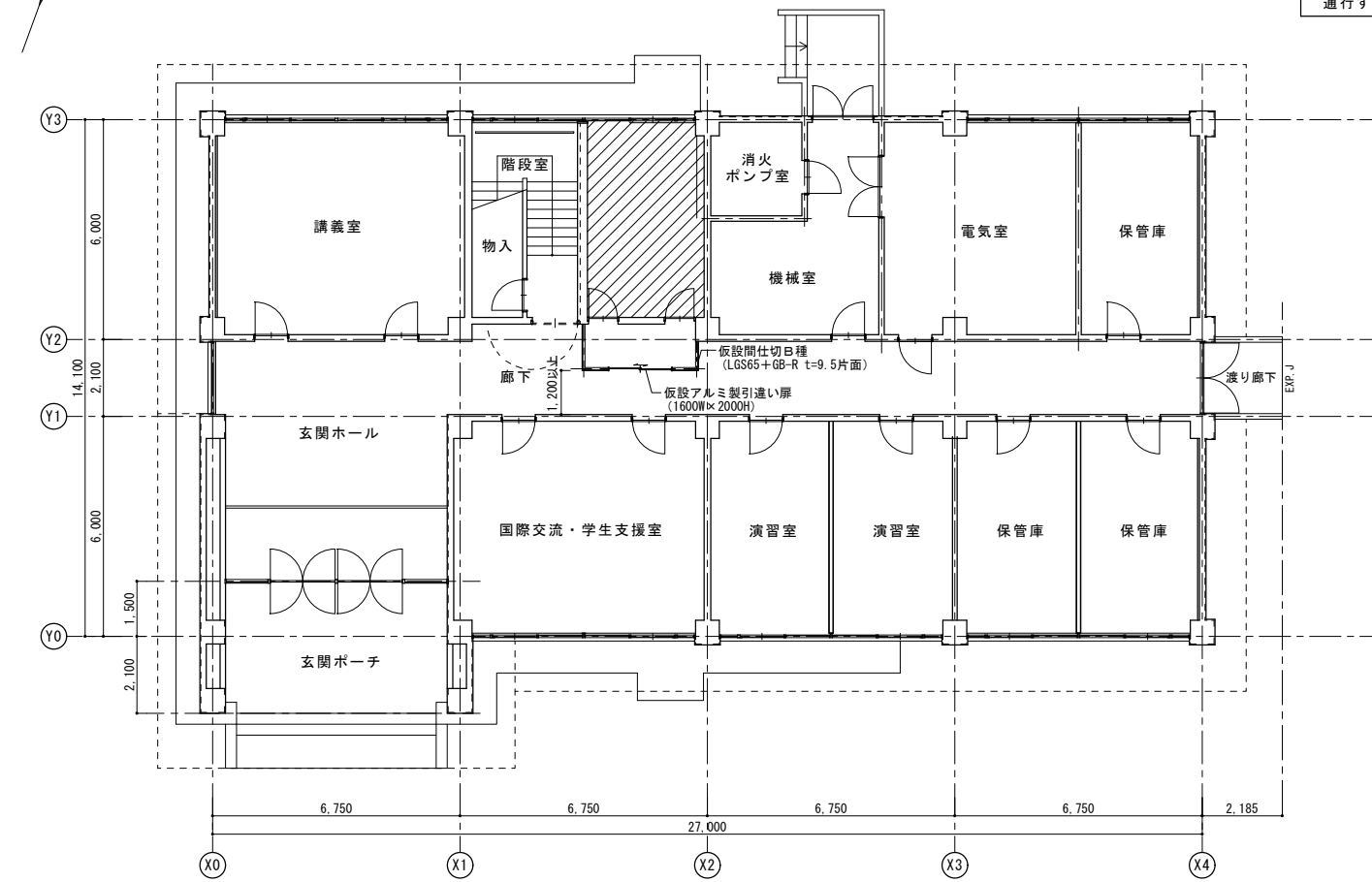
下地凡例	仕上凡例				認定番号				
C-A	コンクリート金ごて仕上げ (直仕上げ、薄物仕上げ)	LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	VS	ビニル床シート	GB-D	化粧せっこうボード	GB-R t=12.5	不燃 NM-8619
C-B	コンクリート金ごて仕上げ (防水下地等)	GB-R	せっこうボード	VH	ビニル巾木	U S	ユニットシャワー	GB-R t=9.5	準不燃 QM-9828
C	コンクリート木ごて仕上げ (モルタル、タイル下地等)	GB-S	シーリングせっこうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り			GB-S t=12.5	準不燃 QM-9826
CW-A	コンクリート打放し仕上げ (A種)	ケイカル板	ケイ酸カルシウム板 (目透し張り)	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り			GB-S t=9.5	準不燃 QM-9826
CW-B	コンクリート打放し仕上げ (B種)	吹付UF	吹付硬質ウレタンフォーム	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り			GB-D t=9.5	準不燃 QM-0524
CW	コンクリート打ちのまま	GW	グラスウール (24kg/m3)	化粧ケイカル板	化粧ケイ酸カルシウム板 (目透し張り)			ケイカル板 t=6	不燃 NM-8578
M	モルタル下地	GL	石こうボードGL工法 (直張り工法)					GB-S (不燃) t=12.5	不燃 NM-9639
S	鋼製下地							EP・EP-G	不燃 NM-8585

- ・複層塗材 E はアスベストが含まれているため、RC壁及びライニング撤去は特記仕様書に基づいて処理を行うこと
- ・内部仕上げ材料 (天井裏等を含む) は全て☆☆☆以上とする  
また、石綿及びクロロビリホスは使用しない
- ・壁LGSは特記なき限り65形とする
- ・天井LGSの吊ボルトは再利用とする
- ・塩ビ製廻り縁は突付けタイプとする
- ・天井点検口はアルミ製 (内外廻縁タイプ) とする
- ・外壁面等の吹付硬質ウレタンフォームは t=30 とする
- ・汚垂石は大型陶板製 (TOTO: AB690HHU4同等品以上) とする
- ・補助手摺-1は樹脂被覆ステンレス製 (TOTO: T1120L9同等品以上) とする
- ・補助手摺-2は樹脂被覆ステンレス製 (TOTO: T1120U2同等品以上) とする
- ・ライニング甲板及び検尿置棚はメラミンボストフォーム (アイカ工業: VPA同等品以上) とする
- ・化粧ケイカル板は、防汚アクリル樹脂系ケイ酸カルシウム板とする

※ SL: 構造スラブレベル (FL基準)  
 ※ FL: 床レベル  
 ※ CH: 天井高さ (FLからの高さ)



\* 内部階段及び廊下で、工事関係者が通行する部分は床養生を行うこと。



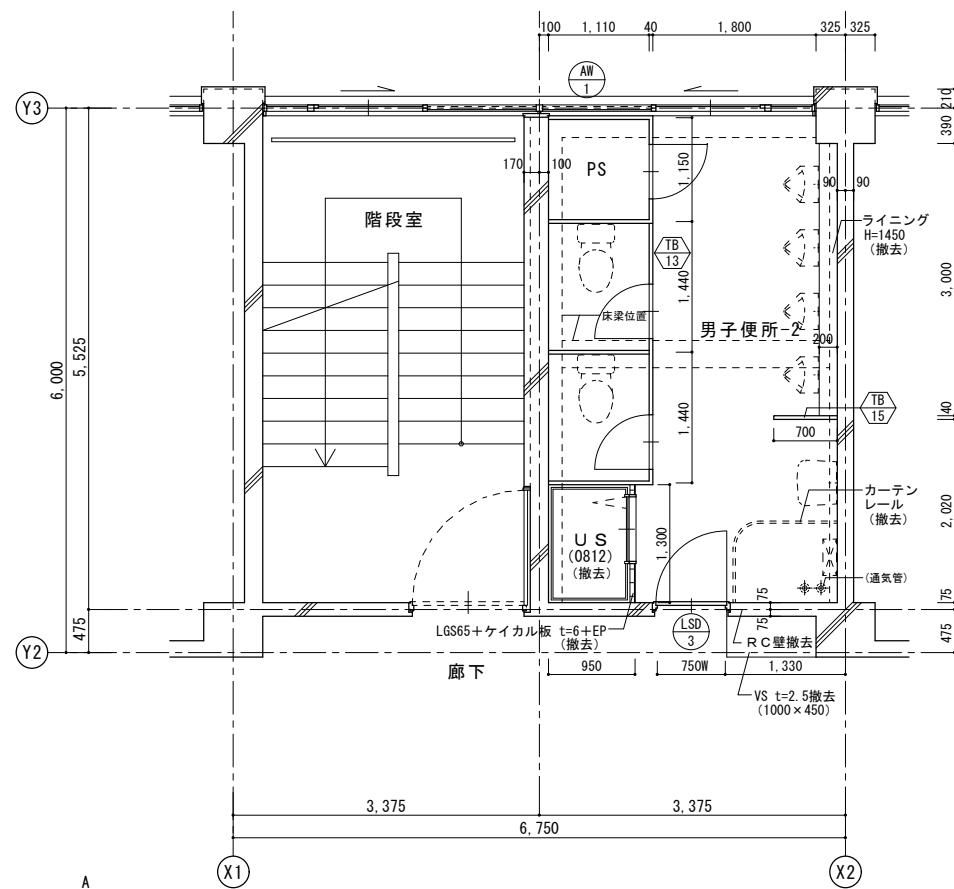
改修範囲

凡例

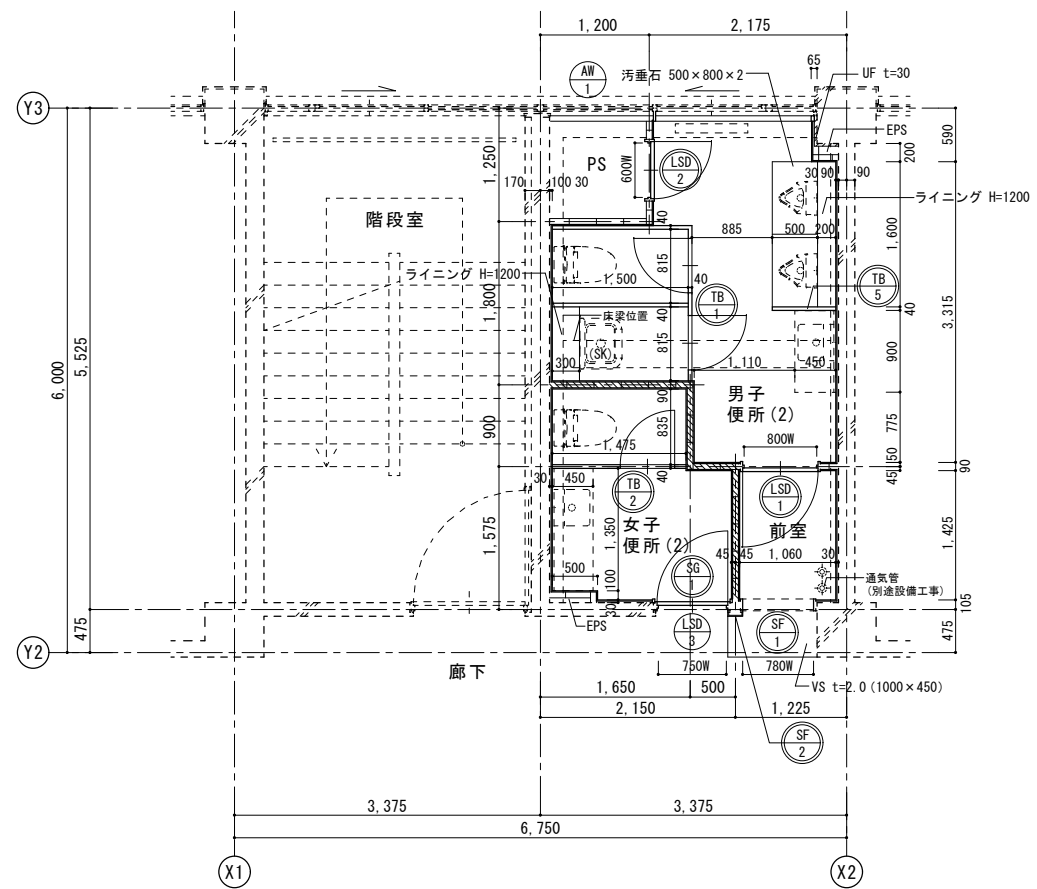
	鉄筋コンクリート		改修建具
	LGS下地壁		新設建具
	吹付 UF		撤去建具
	GW t=50充填 (24kg/m3)		既存のまま建具
	衛生器具新設 (別途設備工事)		

改修部分床面積表

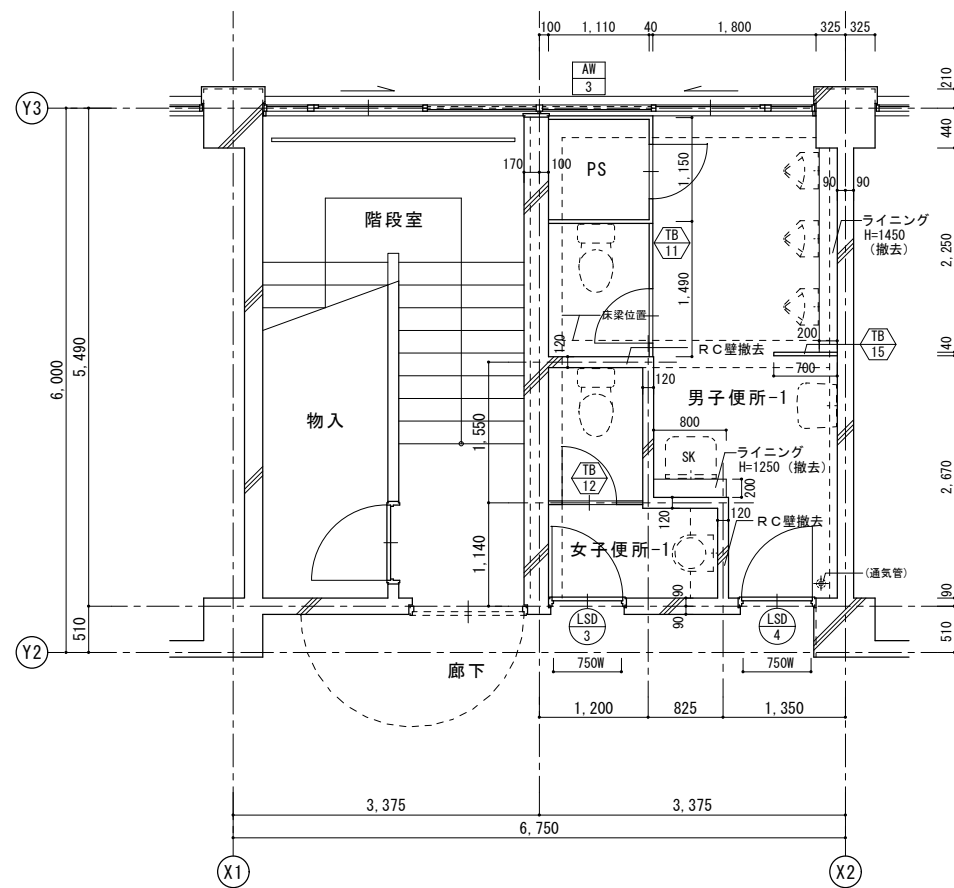
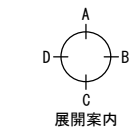
階	計算式	計
1	3.375 × 5.490	18.5287
2	3.375 × 5.525	18.6468
3	3.375 × 5.575	18.8156
4	3.375 × 5.575	18.8156
計		74.8067
		74.80m <sup>2</sup>



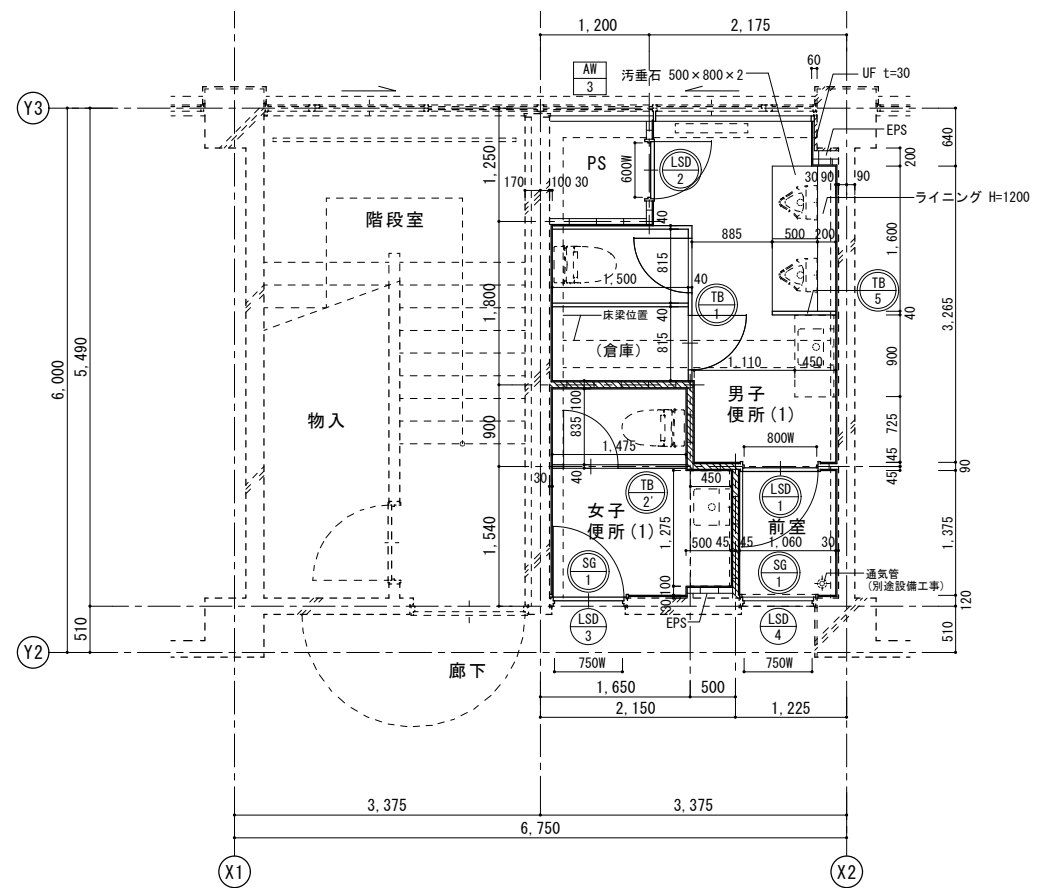
改修前 2階平面詳細図



改修後 2階平面詳細図



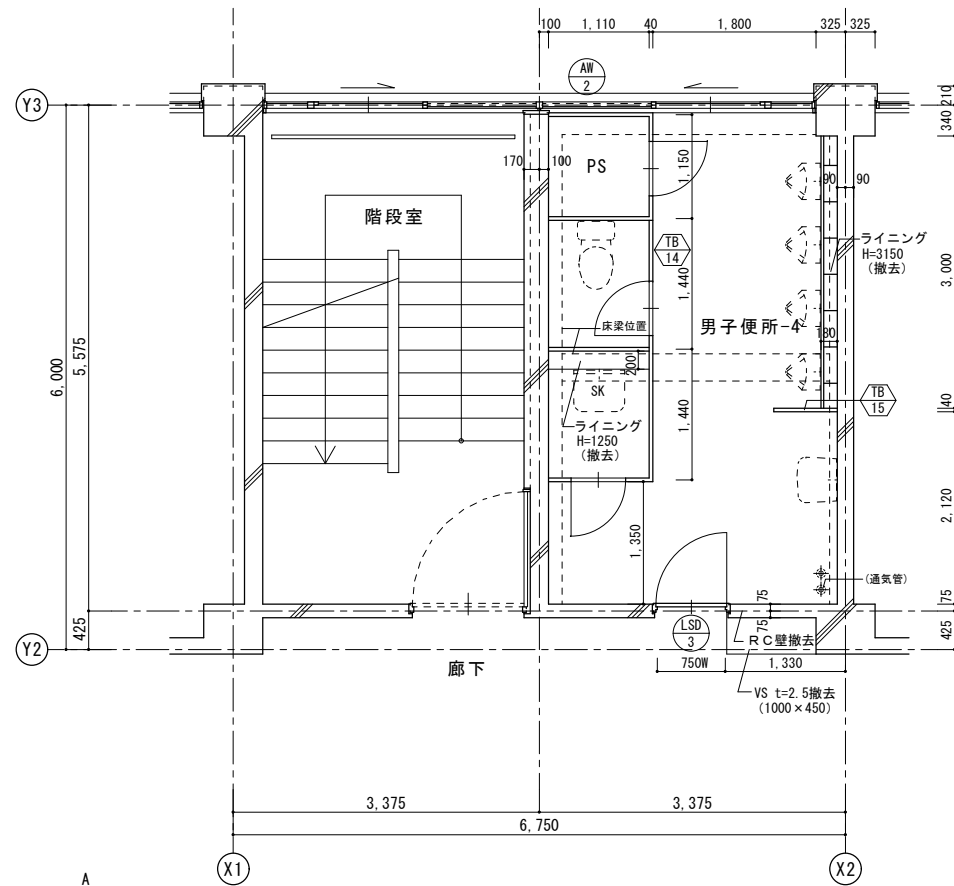
改修前 1階平面詳細図



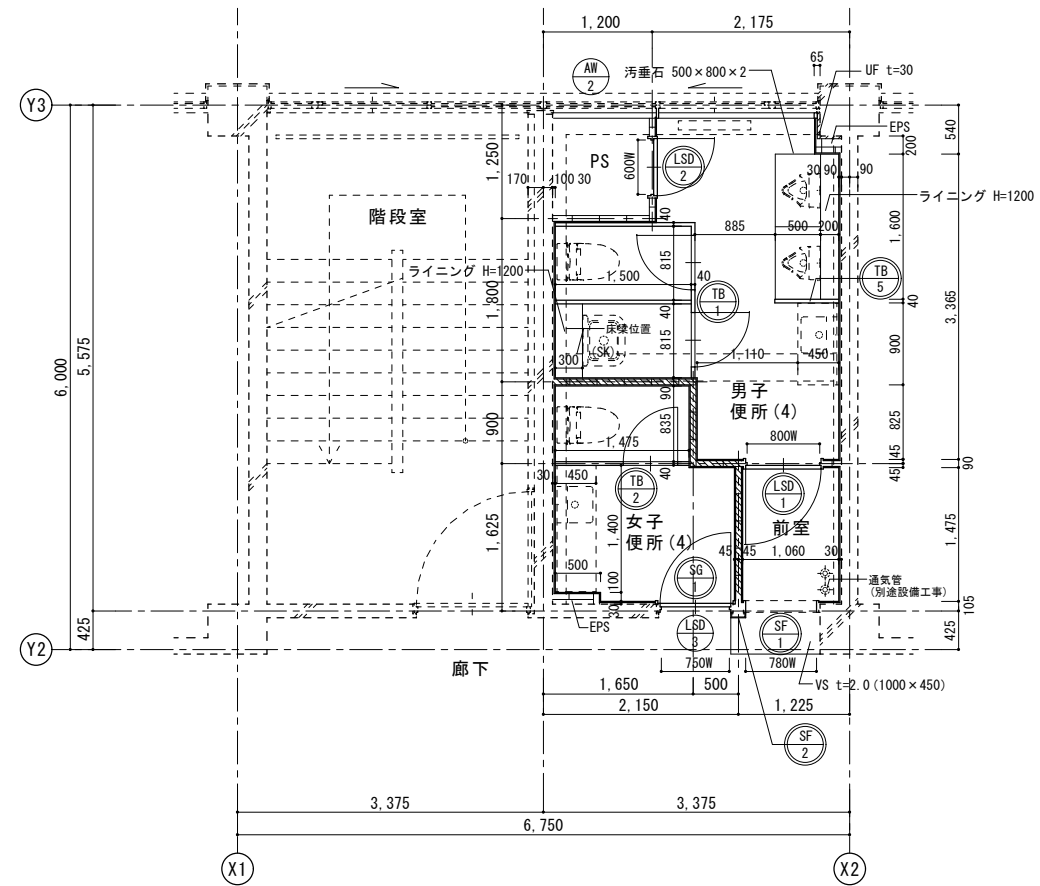
改修後 1階平面詳細図

凡例

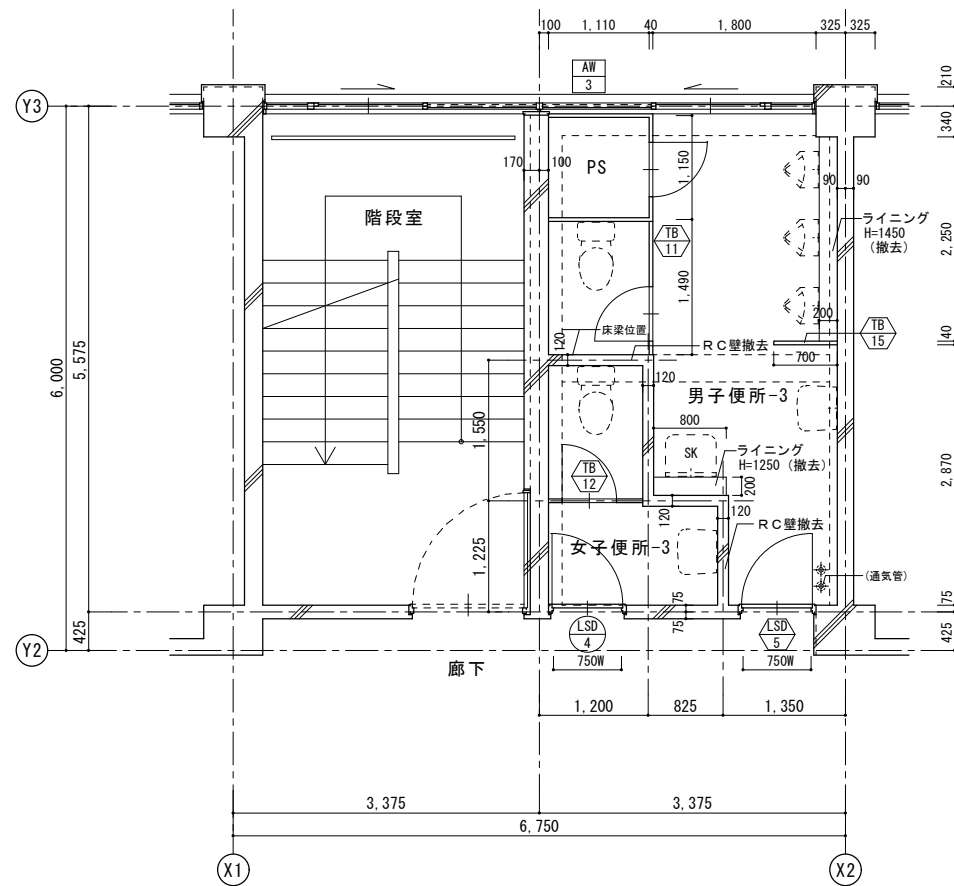
	鉄筋コンクリート		改修建具
	LGS下地壁		新設建具
	吹付 UF		撤去建具
	GW t=50充填 (24kg/m <sup>3</sup> )		既存のまま建具
	衛生器具新設 (別途設備工事)		



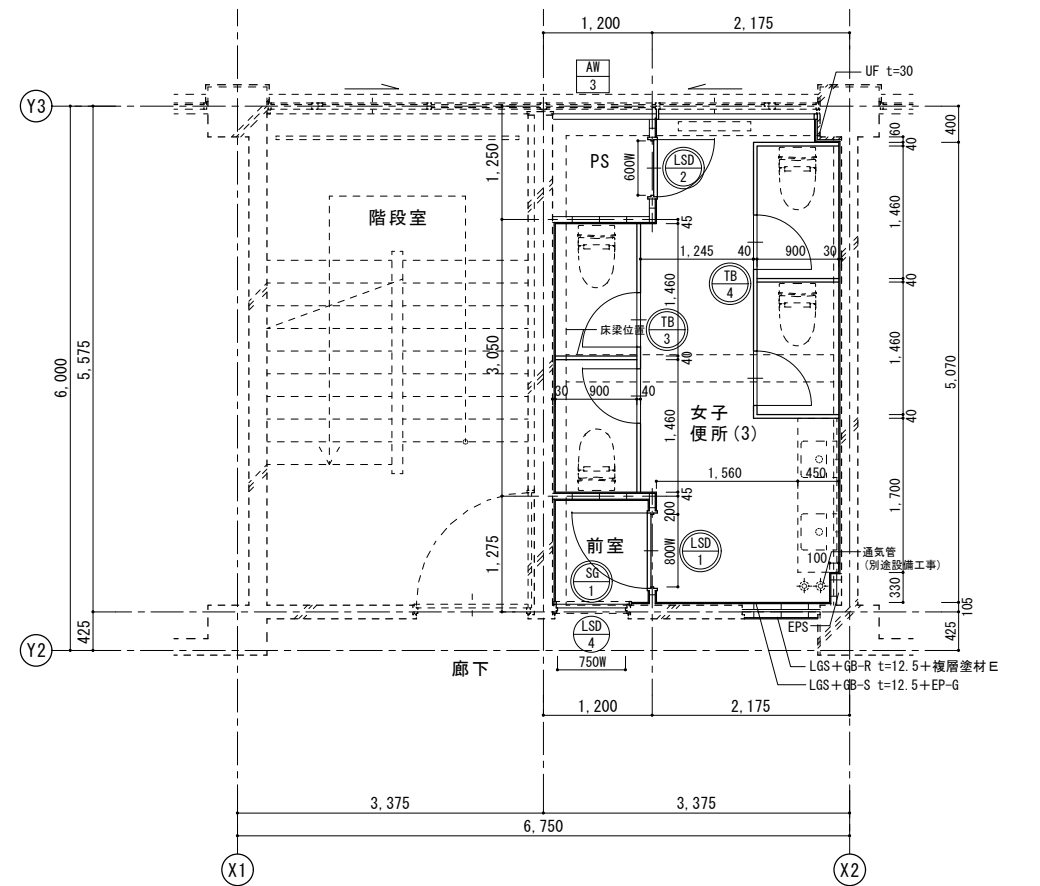
改修前 4階平面詳細図



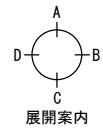
改修後 4階平面詳細図

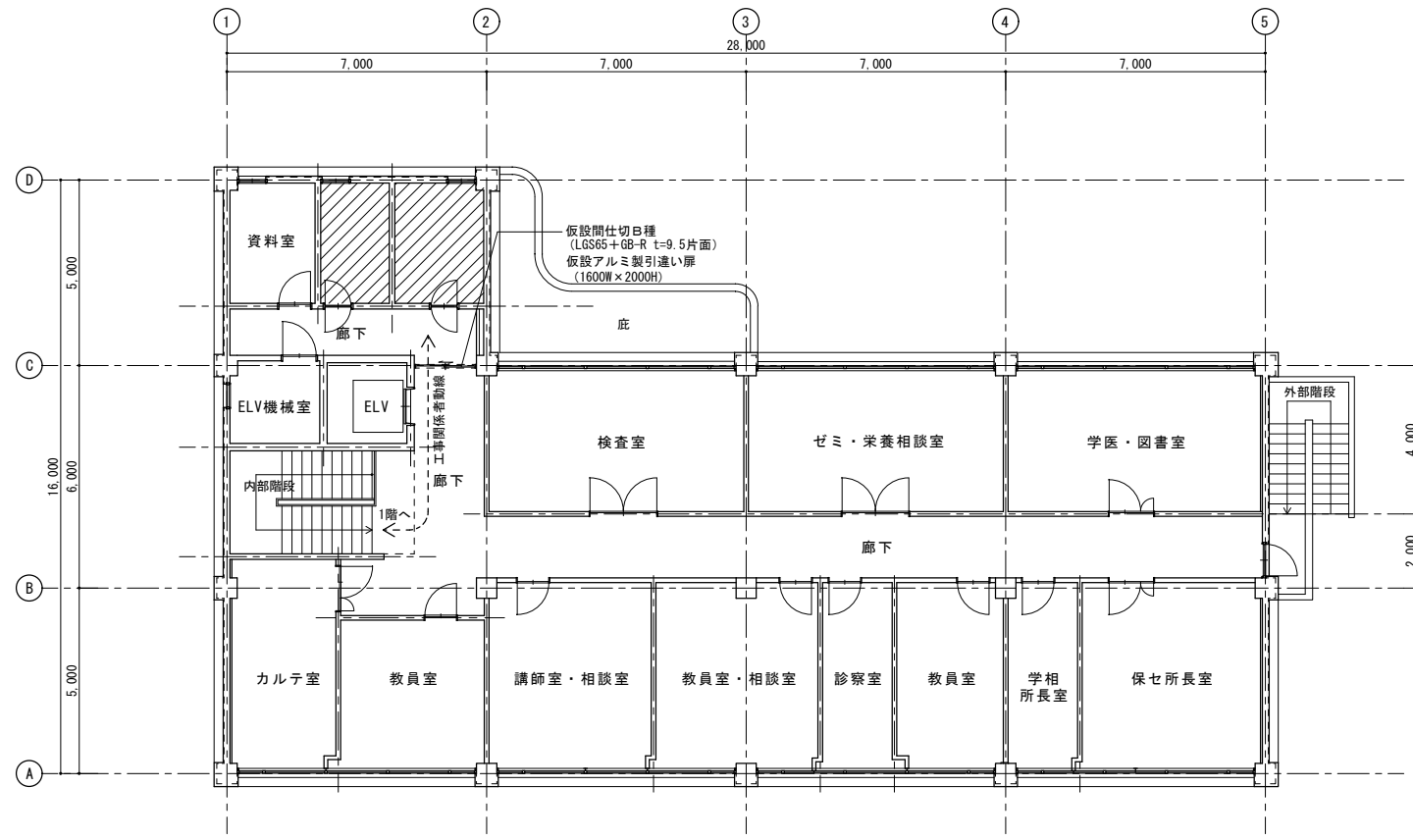


改修前 3階平面詳細図



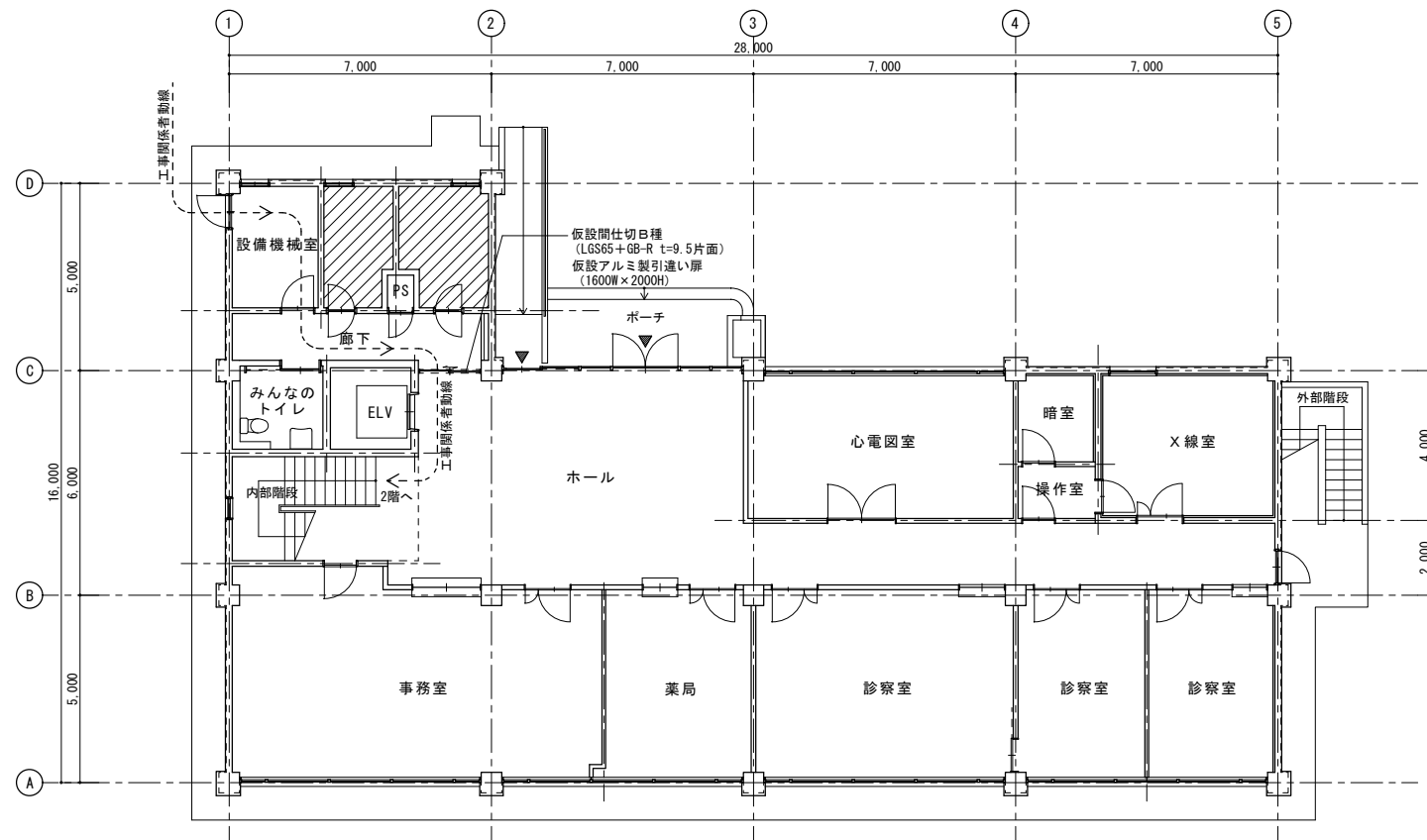
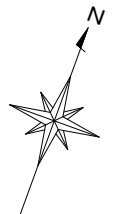
改修後 3階平面詳細図





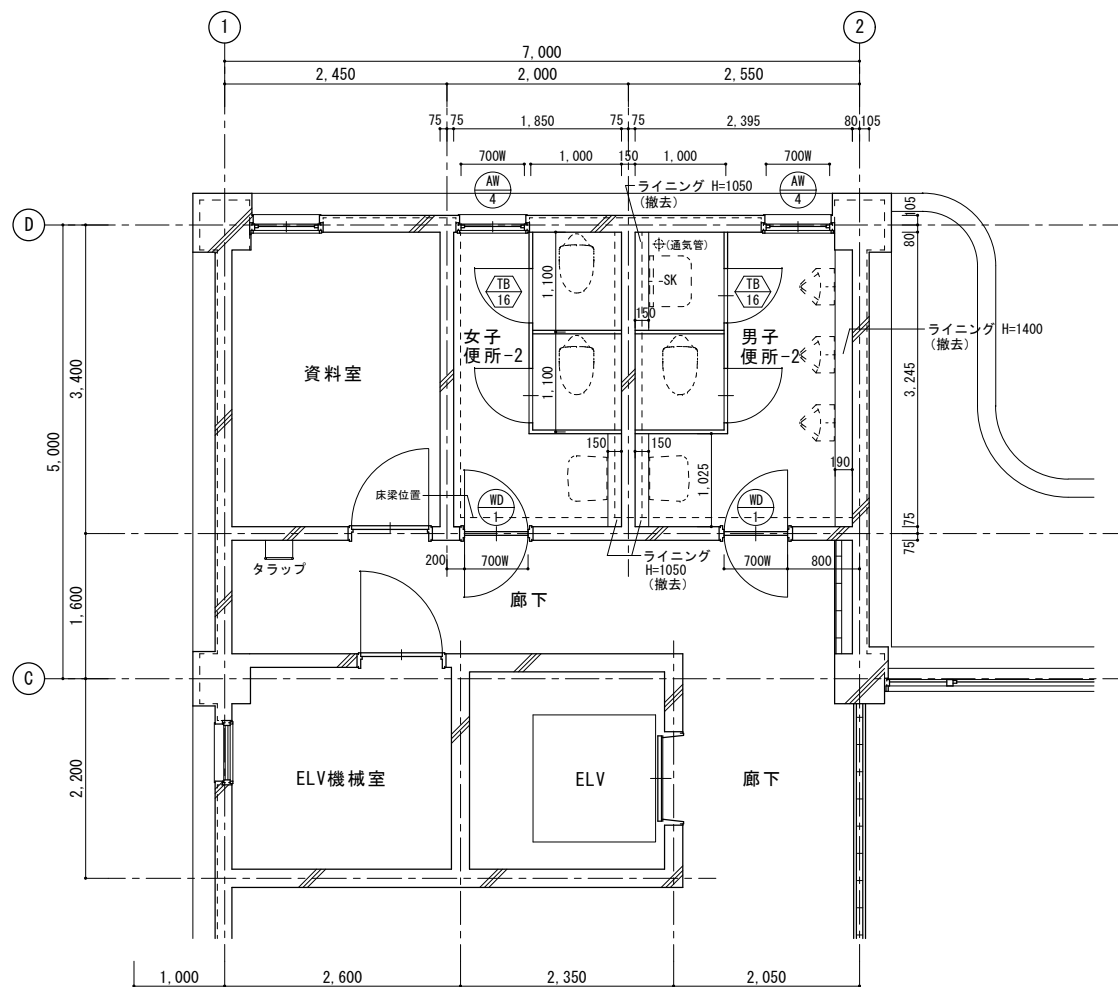
2階平面図

\* 内部階段及び廊下で、工事関係者が通行する部分は床養生を行うこと。

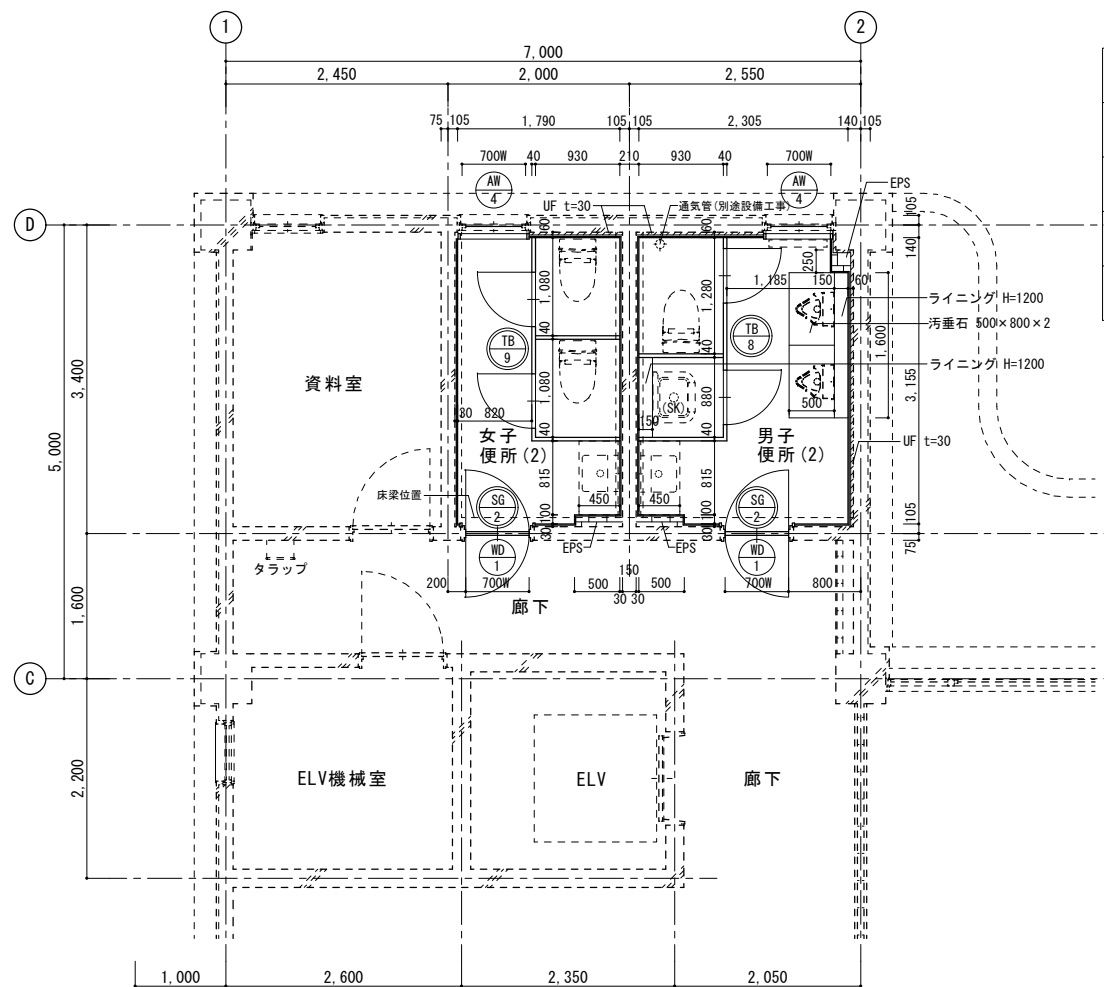


1階平面図

: 改修範囲



改修前 2階平面詳細図



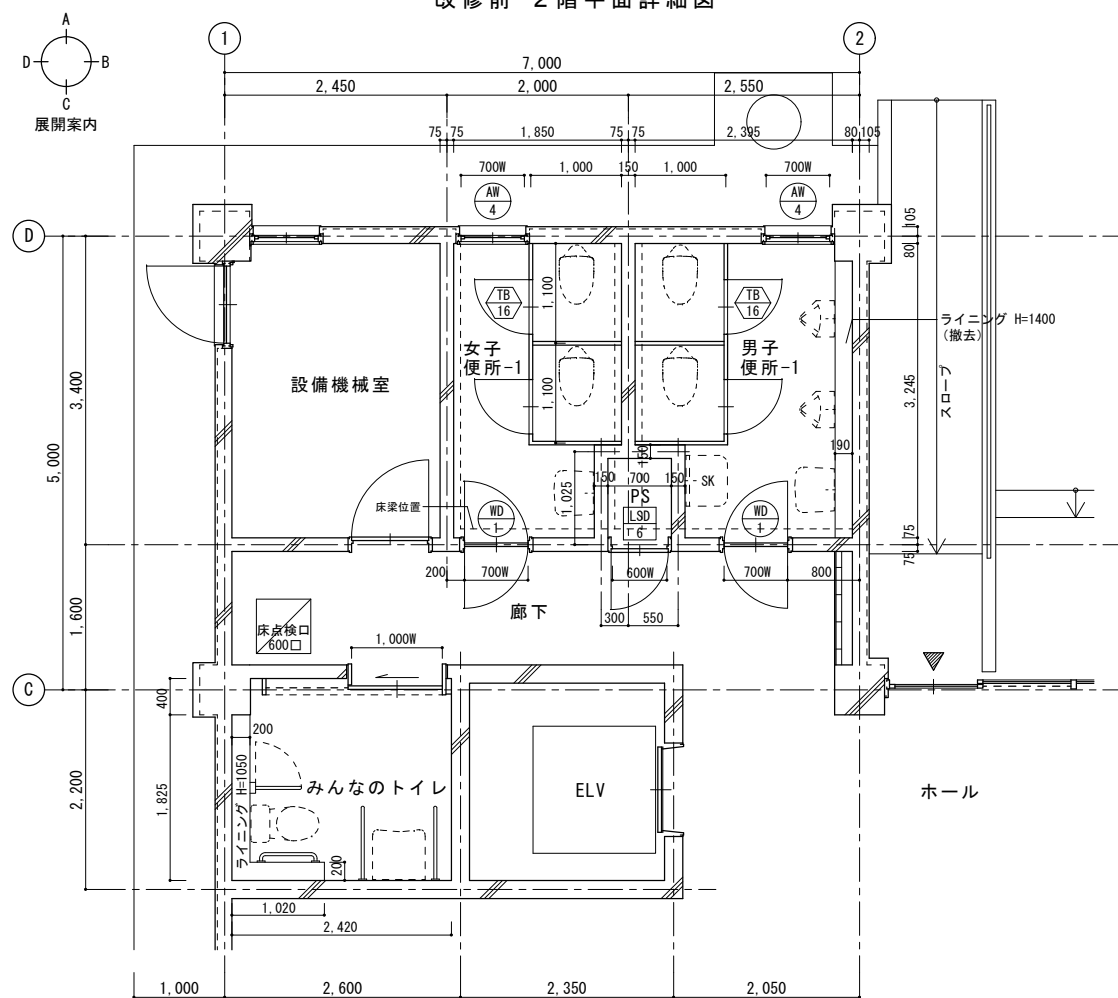
改修後 2階平面詳細図

凡例

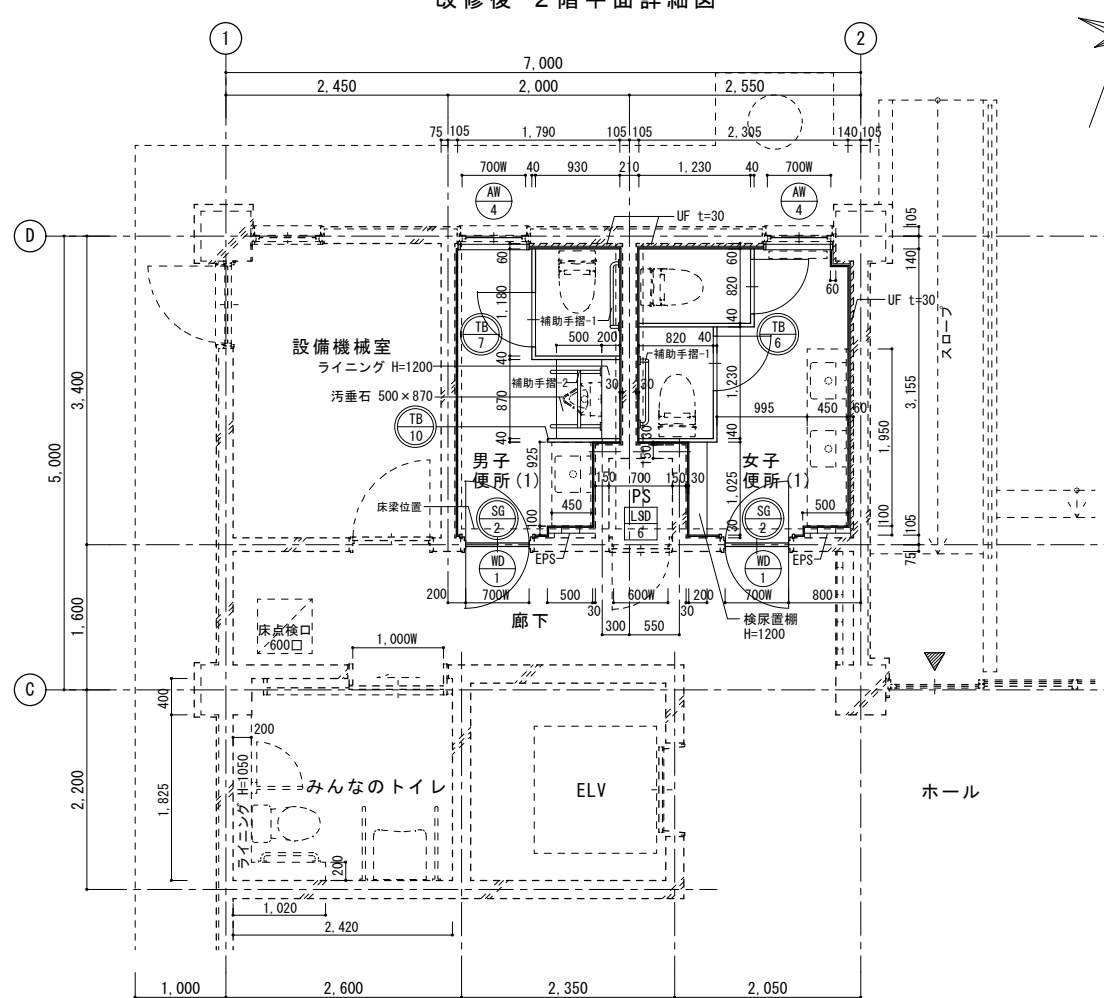
	鉄筋コンクリート		改修建具
	LGS下地壁		新設建具
	吹付 UF		既存のまま建具
	衛生器具新設 (別途設備工事)		

改修部分床面積表

階	計算式	計
1	4.550 × 3.400	15.4700
	-0.850 × 1.025	-0.8712
2	4.550 × 3.400	15.4700
計		30.0688
		30.06m <sup>2</sup>



改修前 1階平面詳細図



改修後 1階平面詳細図